

第8期岐阜政治塾 第1回講座

【記念講演】

003 八田 隆士

野田総長の記念講演では、1票の重み・総裁選に出馬した思い・ふるさと納税のあり方を分かりやすくお聞きする事が出来ました。

お話の中で一番興味深かったのは、ふるさと納税のお話です。

総長のお話の通り、寄付という考え方が少ない日本の中で、ふるさと納税とは自分たちの地域を良くしたい・地元を良くしたいなど、その地域を大切に思う人々が寄付をして応援する考えから、最近では、地域を思う考えより、あの町の返礼品が欲しいなど、判断基準が返礼品の品物選びとなり、地域への思いが二の次になっているように感じます。

地域は地域で如何にふるさと納税を集めるかに目が向いていて、返礼品を前面に押し出して、ふるさと納税を集めるやり方に疑問に思います。

私は、野田総長の、ふるさと納税を本来の寄付という考え方に国が応援するという考え方に賛同いたします。

また、使い道で寄付先を選ぶGCF (Government Crowd Funding)は大変良い考え方だと思います。この方法だと寄付をすればする程、その地域の福祉 (お年寄りの笑顔)・イベント祭り (地域の方の笑顔)・NPO や学校支援 (子どもたちの笑顔)・文化財保護など寄付した方にも目に見えて良くなっている事がわかり、寄付した方の趣旨・目的に沿った街づくり出来るのではないのでしょうか。

私は、今後皆さんに、GCF でふるさと納税をする方向でお話出来ればと思っております。

政治家は一人では当選出来ないというお話の中で一番心に残ったのは、甲子園球場のお話です。先生の「政治に絶対正しいという答えはありません」と言う言葉を聞いて、支援していただける方すべてが納得する答えが出無い中、如何に対応すれば良いかなど、今後この政治塾の中で自分なりの答えが見つけれられるように精進していきたいと思っております。